

Surface タッチパッドの使い方と設定

Ver. 01 2020/06/01

タッチパッドのジェスチャを使用すると、上下へのスクロール、ズームイン、項目の選択などの操作を行うことができます。誤ったタッチにタッチパッドが反応しないように、設定を調整することもできます。

タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッド ジェスチャの使用を開始する




タッチパッドで使用できるジェスチャのいくつかを次のページに示します。

注意:

入力時に誤ったタッチによってカーソルが移動しないように、タップが機能するよりも短い遅延を設定するか、タップをオフにするか、タッチパッドをオフにすることができます。その方法については、「タッチパッド設定の変更」をご覧ください。

[補足]タッチパッド設定の変更

タッチパッドの設定を変更すると、タッチパッドのオンとオフの切り替え、スクロール方向の逆転、ジェスチャのオンとオフの切り替えなどを行うことができます。

1. Surface をキーボードまたはタイプカバーに接続します。
2. [スタート]  > [設定]  > [デバイス]  > [タッチパッド] を開きます。
3. [タッチパッド] で設定を調整します。

| 操作 | 目的 |
|----------------------------|---|
| タッチパッドの左側を押す | <ul style="list-style-type: none"> • 押してクリック • 項目を選択する • マウスと同様の左クリック |
| タッチパッドの右側を押す | <ul style="list-style-type: none"> • 押して右クリック • Windows アプリのアプリ コマンドや、デスクトップ アプリのコンテキスト メニューを開く • マウスと同様の右クリック |
| タッチパッド上の任意の場所を 1 本の指でタップする | <ul style="list-style-type: none"> • 項目を選択する • マウスと同様の左クリック |
| タッチパッド上の任意の場所を 2 本の指でタップする | <ul style="list-style-type: none"> • Windows アプリのアプリ コマンドや、デスクトップ アプリのコンテキスト メニューを開く • マウスと同様の右クリック |
| タッチパッド上を指でドラッグする | <ul style="list-style-type: none"> • カーソルの移動 |
| 3 本の指をタッチパッドの上に向かってスワイプする | <ul style="list-style-type: none"> • 仮想デスクトップを表示する |
| タップした直後に長押ししてドラッグ | <ul style="list-style-type: none"> • 項目の移動またはテキストの選択 • 左ボタンを押したままでのマウスの移動と同様 |

| | |
|--|--|
| 2本の指を水平または垂直にスライドさせる | <ul style="list-style-type: none">• 画面またはドキュメントのスクロール• 画面上でのスクロール ボタンのドラッグや、マウスでのスクロール ホイールの使用と同様 |
| 画面上で2本の指をつまむように同時に近付けるか (ピンチ)、遠ざける (ストレッチ) | <ul style="list-style-type: none">• 拡大または縮小• タッチスクリーンでのジェスチャと同様 |